

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者 建設部 金城・中川・南5区担当課 長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト	
事務事業名	海上交通ネットワークの形成				連絡先 052-654-7978
目的	対象(誰・何を)	金城ふ頭、ガーデンふ頭、中川運河、堀川			事業 期間
	意図(どうい う状態に したいか)	港内の各地区間や港と背後地域を結ぶ、新たな交流の道筋となる“水の交流軸”の形成を図ります。			
概要	中川運河、堀川を利用し、歴史資産、観光拠点をめぐる海上交通ネットワークの形成を図ります				根拠 法令等
令和元年度の実施予 定	海上交通ネットワークの形成を図るため、金城ふ頭の小型栈橋の設計を行います。また、中川運河における水上交通定期運航・モニタリング調査を行います。				実施義務 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連 シート

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	海上交通ネットワークの利便性の向上に向けて、金城ふ頭小型栈橋の基本設計を行いました。また、中川運河において水上交通定期運航・モニタリング調査を実施しました。 なお、中川運河における水上交通定期運航は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日～3月31日まで運休しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		19,138	33,118	26,128	
人件費	千円		-	10,091	10,091	
合計	千円		19,138	43,209	36,219	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	4	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
金城ふ頭小型栈橋 整備の進捗状況 (全4工程) (進行管理型)	目標			2		4	以下の項目のうち完了した工程数を合計します。 【①基本計画 ②基本設計 ③実施設計 ④ 整備】	
	実績		1	2				
	事業進捗状況(元年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	令和元年度は金城ふ頭の小型栈橋の基本設計を実施しており、目標の達成に向け順調に進んでいます。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○	うるおいと魅力のある港湾空間の形成を図るためには、海上交通ネットワークの形成を進める必要があります。						
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？ 期待どおりの成果が得られているか？	○	金城ふ頭の小型栈橋の整備により、海上交通ネットワークの利便性を向上させることができます。						
効率性 最小のコストとなっているか？	○	コストが最小になるよう事業を進めています。						

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	利便性の向上を図りながら、海上交通ネットワークを形成し、うるおいと魅力を生み出す必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
海上交通ネットワークの形成に際しては、利便性を向上していく必要があります。また、水上交通の誘導を進める名古屋市と連携・調整する必要があります。			海上交通ネットワークの利便性の向上に向けて、金城ふ頭小型栈橋の実施設計を令和2年度に行い、令和4年度の供用を目指して整備を進める予定です。また、水上交通の誘導を進める名古屋市と連携・調整していきます。